

熟考しない、流される、責任を取らない

なぜ私たちは「だまされた」と嘆くのか？

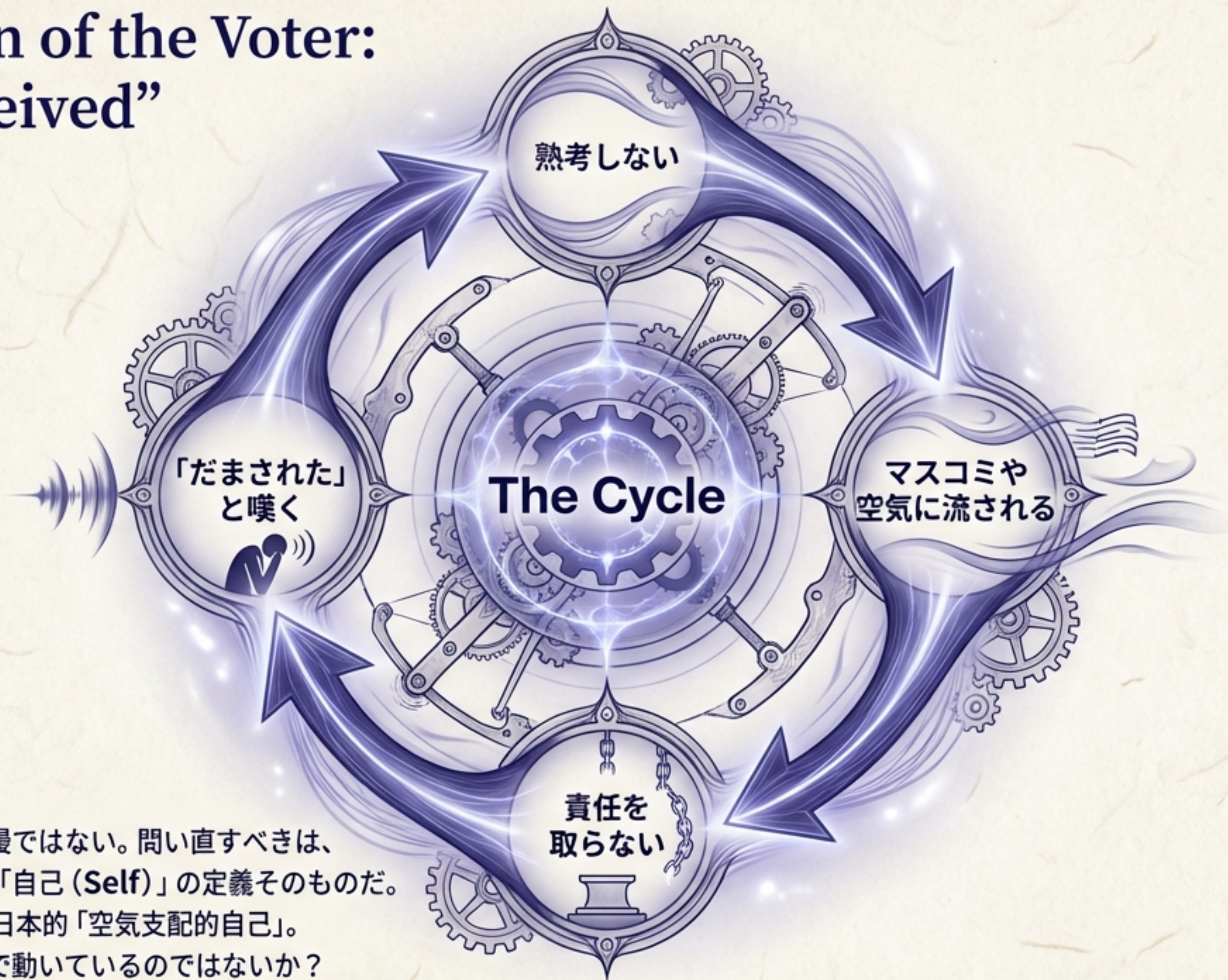
日本人は政治的問題について
自立して熟考しない。
マスコミや空気に流されて選択する。
そして選択の責任をとらない。
結果が悪ければ「だまされた」と言う。



日本型「低強度民主主義」の構造分析

Structural Analysis of Japanese 'Low-Intensity Democracy'

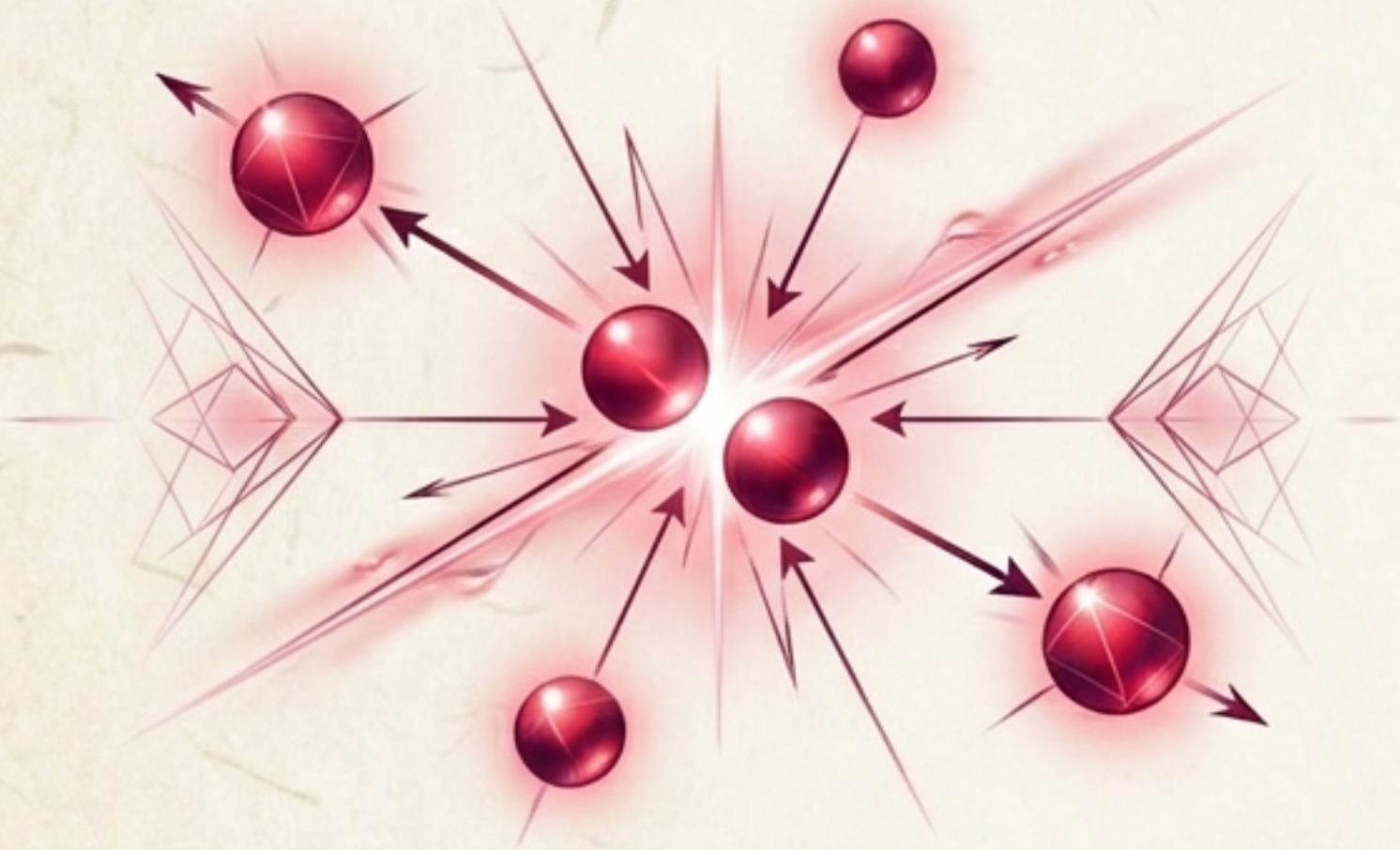
The Refrain of the Voter: “I was Deceived”



このサイクルは単なる怠慢ではない。問い直すべきは、「民主主義」の前提となる「自己 (Self)」の定義そのものだ。西欧的「自律的自我」と、日本的「空気支配的自己」。我々は全く異なるルールで動いているのではないか？

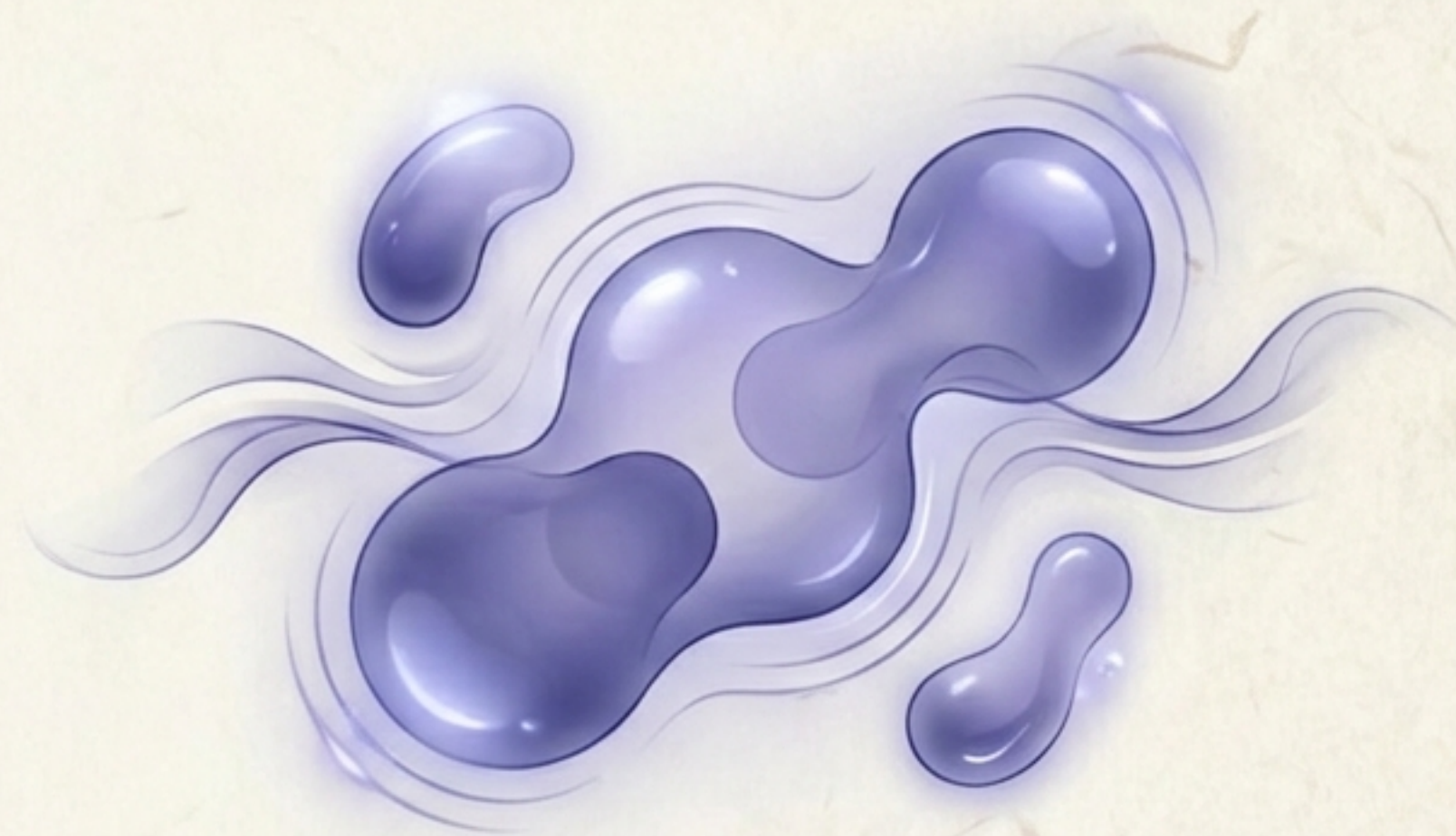
Ideal Types: Western Liberalism vs. Japanese Relationalism

西欧型リベラル民主主義 Western Liberal Democracy



- **源流:** John Locke, Rousseau
- **自己 (The Self):** 自律的・理性的存在 (Autonomous & Rational)
- **定義:** 自律的個人の競合と討議の制度化

日本型（关系的）民主主義 Japanese Relational Democracy



- **自己 (The Self):** 関係の中で形成される主体
- **優先順位:** 対立より調整 (Adjustment over conflict)
- **定義:** 関係秩序の維持を前提とした合意形成

The Diagnosis (A): Cognitive Dependence

Why the 'Verbal Battlefield' does not exist here.

現象 (Phenomenon):

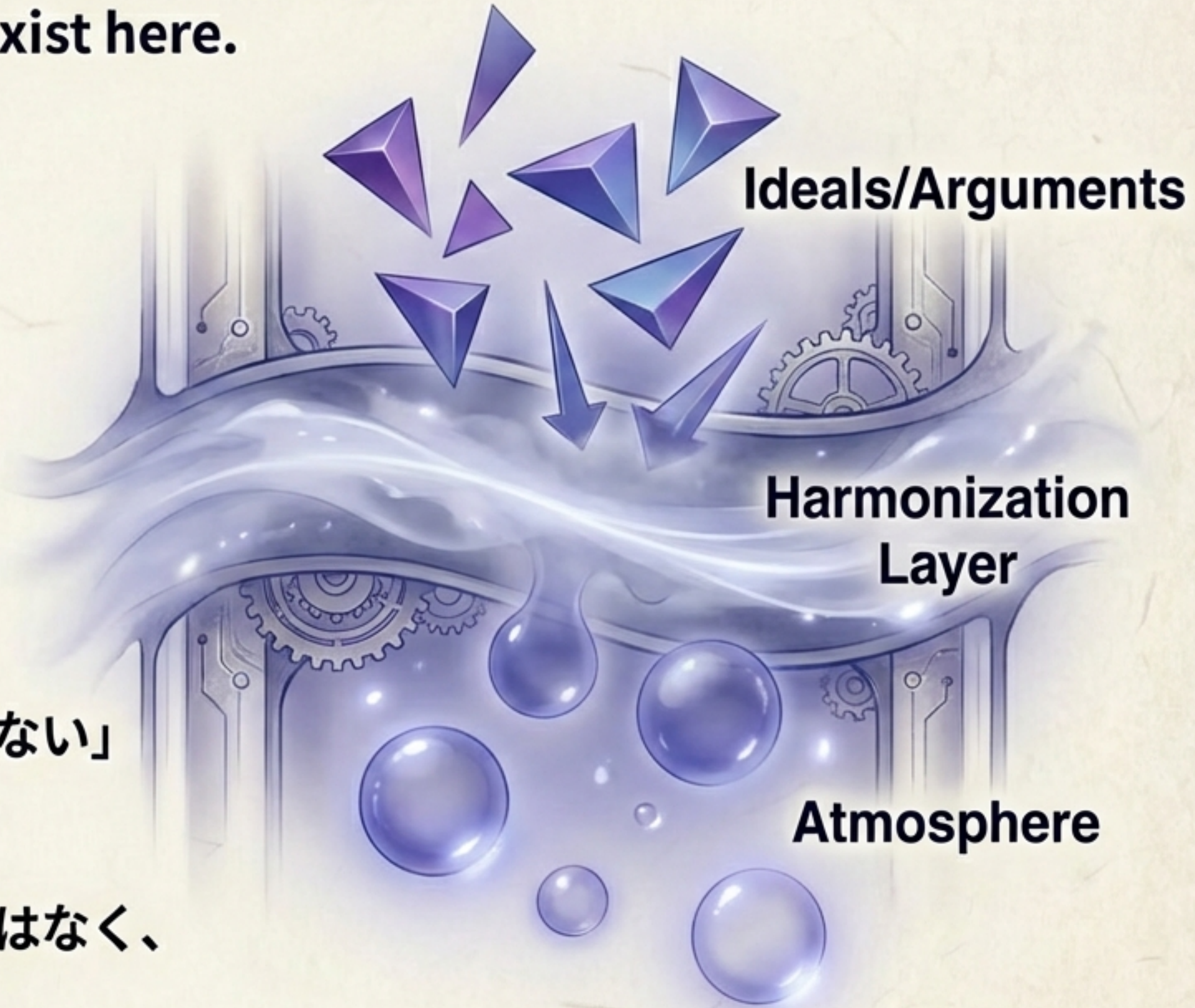
マスコミ報道への依存、権威的説明の受容、
政治的理念よりも「雰囲気」での判断。

構造的要因 (Structural Factor):

これは知的能力の問題ではない。

「政治を対立的言語空間として内面化していない」
という構造の問題である。

日本において政治とは、思想を戦わせる場ではなく、
空気を調整する場として機能している。



The Diagnosis (B): The Ambiguity of Responsibility

「だまされた」「説明不足だった」

The Perception

Helvetica Now Display

近代的自己責任モデルから見れば、これは未成熟な態度に見える。しかし、「関係的主体」においては前提が異なる。

The Mechanism

Helvetica Now Display

決定は相互信頼の上に委ねるもの (Decisions are entrusted based on mutual trust).
信頼が破られた時、それは自分の「選択ミス」ではなく、上位者の「裏切り」として処理される。
ゆえに責任は常に「裏切った側」に帰属する。

The Diagnosis (C): The Governance of Silence

Michel Foucault的視点：権力は必ずしも「命令形」を取らない。

- 
1. 同調 (Conformity)
 2. 暗黙の期待 (Implicit Expectation)
 3. 集団的沈黙 (Collective Silence)

権力者は強制するのではなく、空気を作り出すことで統治する。

Is this a Dictatorship?

Dictatorship
(独裁)

Helvetica Now Display

Liberal Democracy
(自由民主主義)

Helvetica Now Display

低強度競争民主主義

(Low-Intensity Competitive Democracy)

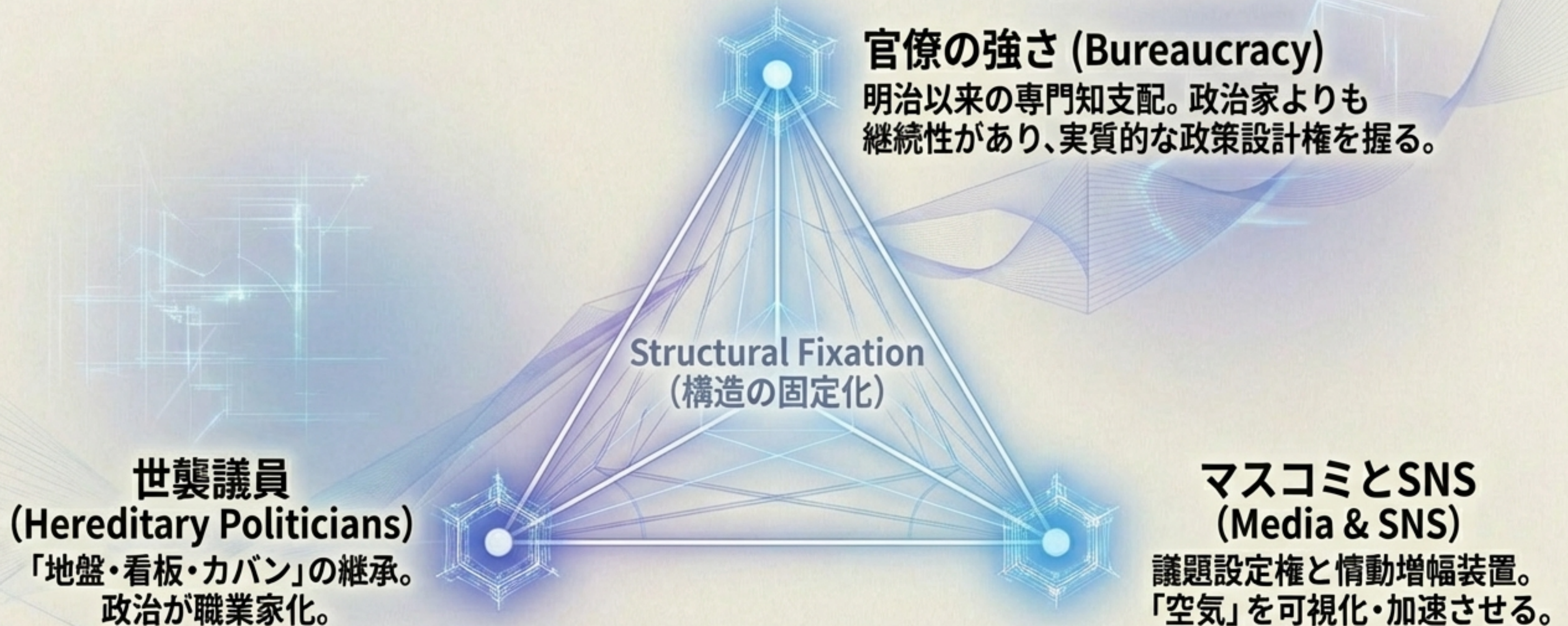
独裁の定義: 権力集中、反対意見の抑圧、選挙の形骸化。(日本はこれではない)

しかし、構造を見ると:

- 長期政権化
- 二世三世議員の優位
- 官僚機構の政策主導

結論: 選挙はあるが、構造が固定化されやすいシステム。

The Structural Guardians of Stability



The Western Ideal is Also Collapsing

欧米もまた変質している。

現象：

- ・ ポピュリズムの台頭
- ・ 分断の拡大
- ・ SNSによる情動政治化

Donald Trump現象：
理性的討議モデルが崩れ、情動が支配する例。



西欧の現在：
「西欧型民主主義」もまた、理想型から離れつつある。

Which is More Dangerous?

Western Risk

High-Intensity Conflict
(高強度対立)

Outcome:
Division & Violence
(分断リスク高い)

Japanese Risk

Low-Intensity Conflict
(低強度対立)

Outcome:
Stagnation & Quiet Oligarchy
(停滞 → 静かな寡頭支配)

日本の危機は「混乱」ではなく、構造的な「固定化」にある。

The Final Diagnosis

低強度・関係維持型民主主義

(Low-Intensity, Relation-Maintaining Democracy)

- 独裁ではない (Not dictatorship)
- しかし競争が弱い (Weak competition)
- 責任帰属が曖昧 (Ambiguous responsibility)
- 情動的空氣が強い (Ruled by emotional atmosphere)

Can This Structure Survive?

問題は国民の「未熟さ」ではなく、このシステムと現代社会の不適合にある。

この構造が、21世紀の複雑社会に耐えられるか？

我々が直面しているのは、強権的な支配ではなく、
「慢性的無力化 (Chronic Powerlessness)」である。

Sources

Based on the analysis from:

熟考しない、流される、責任を取らない、だまされたと嘆く

品川心療内科自由メモ5 (2026.02.16)